

益田市市長
山本浩章

オリンピック・パラリンピックは延期されましたが、アイルランドの関係者から心温まるメールが届きました。以下、抄訳を紹介します。

「(前略) 現在アイルランドでは、医療従事者などを除く国民が自宅待機を要請され、生活が厳しく制約されています。選手は大会に向け準備することは不可能で、1年の延期に安堵しています。一方、日本の皆様は、世界最大のスポーツの祭典の開催に向け7年も準備され、開会までわずか4カ月だっただけに、その落胆と傷心は察するに余りありません。しかし、準備期間が延びたことは、大会を当初の想定以上に意義深いものとし、世界中の人々の感動を呼ぶ契機となると確信します。先週アイルランド・オリンピック連盟は以下の共通認識を確認しました。『日本の皆様、東京大会が準備万端

となったときに、我々もまた準備万端となるべきです。』

アイルランド自転車競技連盟と益田市が締結した協定について、2021年に再設定された大会の終了時まで、連携を継続するという益田市の見解に対し、私たちは心からの賛意を表するものです。私たちもまた、益田市との連携を継続することを約束するとともに、アイルランド自転車チームとともに支援したいと考えております。(中略)

歴史的ともいえる世界的危機であるコロナウイルス大流行の影響を受けたことで、2020東京大会はスポーツをはるかに超える意義を表徴するものとなることでしょう。人類を讃える祭典となるということであり、ほかならぬ日本国民の優しさと思いやりと不屈の精神によってもたらされるものだということなのです。我々は、世界中のすべての選手、指導者、サポートスタッフ、そしてスポーツ愛好者にとって、いつそ大きな意味を持つ大会となるという期待に胸をふくらませています。2021年に開催されるオリンピック・パラリンピックの成功に向け、益田市の皆様がこれからも我々チームアイルランドとともに歩んでくださるようお願い申し上げます。」

益田市の文化財の紹介

第9回 よこやまじょうあと 横山城跡

【問い合わせ先】 市文化財課 ☎ 31-0623

名称	横山城跡
読み	よこやまじょうあと
指定	益田市指定文化財
種別	史跡
員数	1所
所在地	益田市柏原町
管理者	二条地区自治会連合会
年代	室町時代後期
指定期月日	昭和50年4月21日

益田市指定文化財・史跡の横山城跡は、柏原町にある山城の遺跡です。指定されているのは柏原町域だけですが、山城の遺構は桂平町域にまたがっています。

横山城跡には、主郭の東側に四重の堀切(尾根を分断するように掘られた水のない堀。尾根伝いの進軍を防ぐ。)が良好に残っています。中世の上黒谷郷(上黒谷町、桂平町、柏原町、愛栄町)を押さえるだけでなく、益田氏最大の好敵手である津和野の吉見氏や、長門国方面からの攻撃に備えるための重要な防衛拠点でした。

永正4(1507)年、上黒谷郷近辺の小領主たちが、「上黒谷郷で緊急事態が発生したら横山城にかけつけ、守りを固める」と誓っており、地域の防衛にとって重要な城であったことがわかります。

天文20(1551)年、吉見氏との戦いに敗れた益田氏は、保賀氏に対



横山城跡の位置図



桂平小学校あたりから見た横山城跡(中央奥の山)。左手の道が登山道につながる。城跡の南側からも登ることができる。

して、安富氏・高津氏に替わって横山で番をするよう依頼しています。保賀、安富、高津はいずれも横山城から離れていますが、彼らを動員してでも守らなければならぬ重要な城と考えられていたのでしょう。

しかし、弘治2(1556)年、吉見氏が家臣の上領氏に宛てて、黒谷横山を攻略した際に吉賀氏が城督の和田氏を捕らえたことを褒められており、吉見氏によって横山城は攻略されたようです。